

2月 おむろじどうかんニュース

2026年 NO.484



- ◆じどうかんでは0才～18才までの子ども達が自由に遊ぶことができます。
※幼児は保護者同伴でお願いします。
- ◆開館は月曜～土曜です。 ※5時からは中高生の利用時間となります。
- ◆図書の貸し出しをしています。1人1冊1週間までです。
- ◆子育てのお悩みも聞きます。
- ◆御室児童館ホームページ（ニュースや最新情報を閲覧できます）
<http://www.kyo-yancha.ne.jp/omuro/>（検索→「御室児童館」）
<http://omurozidoukan.jimdo.com/>（検索→「御室児童館 Jimdo」）
- ◆御室児童館インスタグラム（検索→「御室児童館 インスタグラム」）
- ◆資源物回収ボックスを設置しています。（油、蛍光灯、電池、紙パック等）
- ◆古紙・雑紙・古着の回収、子ども服・絵本のリサイクル回収も行っています。
児童館へ直接お持ちください。



社会福祉法人 京都保育センター

京都市御室児童館

Tel:463-9431

Fax:463-9222

E-mail:omuro@kyo-yancha.ne.jp

〒616-8021

京都市右京区花園天授ヶ岡町3

発行責任者：三浦 正人

暦の上では春が訪れますか、まだまだ寒い日が続いていますね。児童館では、風邪やインフルエンザの予防に十分配慮しながら、元気いっぱいすごしていきたいと思います。

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|-----|-------------|------------|--------------|------------|----------------|--------------|
| 2/1 | 2 のびのび | 3 | 4 | 5 きらきら | 6 乳幼児親子の広場 | 7 |
| | | | うたごえクラブ | | | 中高生会 |
| 8 | 9 のびのび | 10 | 11 建国記念の日 | 12 きらきら | 13 乳幼児親子の広場 | 14 |
| | ストリートダンス | | | 将棋教室 | | |
| 15 | 16 のびのび | 17 | 18 | 19 きらきら | 20 乳幼児親子の広場 | 21 |
| | ストリートダンス | チャレンジランキング | うたごえクラブ | 児童館クラブ | | 御室児童館運営委員会 |
| 22 | 23 天皇誕生日 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 ウクレレ体験 |
| | | | | 将棋教室 | アイロンビーズ教室 | |
| 3/1 | 2 のびのび | 3 | 4 | 5 きらきら | 6 乳幼児親子の広場 | 7 |
| | | おもちゃ委員会 | | | ドッヂボール | おもちゃ委員会 |

チャレンジランキング

こんかい
今回は「わりばしダーツ」にチャレンジします！狙った所にわりばしを入れることができるかな？みんなのチャレンジをま
ねら
とこ
い
ま
待っています。

にちじ
にち
か
日時：2月17日（火）4:00～4:30



ウクレレをやってみよう会

子育て中のみなさん。ウクレレで気分転換しませんか。小さく手軽なボディーのウクレレ♪簡単なコードから弾いてみます。地域の方がレクチャー。楽器を持っていない方もお貸ししますので、ぜひ弾いてみましょう！

日時：2月28日（土）10:30～11:30

対象：大人・親子（小学3年生以上）

定員：6名





じどうかん 児童館クラブ

みんなでおやつを作つて食べたり、遊んだりしながら5時まですごします。今回は、『チョコバナナ餃子』を作ります。

参加したい人は、児童館までお申し込みください。

日時：2月19日（木）

15:30～17:00

対象：小学4年生～（先着10名）

参加費：100円



いいんかいさんかしゃぼしゅう おもちゃ委員会参加者募集！



児童館で使う新しいおもちゃと一緒に買いに行くメンバーを募集します！みんなで相談しながら新しいおもちゃを選びましょう！詳細は、後日ポスターなどでお知らせします。

日時：3月7日（土）＊3月3日には、買うものを決める会議を行います。

対象：小学4年生～

最近の児童館



大人へ伝えよう

【子どもの声を大人に伝えよう】をテーマに、普段子どもたちが大人に対して思っていることを紙に書いてもらい、児童館の階段に掲示しました。対象は、先生やお家の人の、地域の方、運転手さんなど、誰でもOK。いつも、たくさんの「ありがとう」を伝えてくれる子どもたちですが、今回は、感謝だけでなく不満や怒り、もっとこうしてほしいといった要望など、自分の気持ちを正直に表現してくれました。子どもたちが書いてくれたものの中には「みまもりたいの人へ。いつもみまもってくれてありがとう」「大人と子どもで遊ぶ時間を増やしてほしい」「大人が子どもに、ろうかを走らないでと注意するのに、大人が守っていない」などといった声がありました。

今回の取り組みでは、子どもたちが心の中でこんな風に感じているのだと気づくことがたくさんありました。日々の会話を大切に、子どもたちの声に寄り添い、子どもたちが願いや思いをいつでも伝えられる児童館づくりを目指していきたいと思います。

